



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: gpnng725@gmail.com

郵便振替:00190-4-554373

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。

日曜日・午前10時30分・礼拝

水曜日・午後1時30分・祈禱会

「聖歌の後継者の和田健治師の召天」

牧師 小林 政和

聖歌(中田羽後編集、1958年、日本福音連盟発行、いのちのことば社発売所)と、讃美歌(1954年、日本キリスト教団出版局発行)は長年、プロテスタント教会の音楽としてよく歌われてきた賛美集です。両者は車の二輪のごとく、互いに補完し合いながら、戦後のキリスト教界の賛美を推進して来ました。聖歌を中田羽後師から受け継いで聖歌総合版を編集した和田健治師(「聖歌の友社」を創設する)が今年3月に天に召されました。連合にとって、いいえ日本の教会音楽界にとって、また一つの星が失われたのは寂しい限りです。和田師は日本バプテスト教会連合、練馬バプテスト教会のメンバーです。私が練馬に居た時には同じ教会員として、お付き合いさせて頂きました。私が聖契神学校で学んでいた頃、和田師は神学校の教会音楽の担当教師でした。当時の神学生たちは皆、和田師から賛美のし方を教わりました。夜の神学校で、和田師の授業は最後の時間が多く、帰り道、二人は神学校から目黒駅まで走りながらタクシーを拾う経験を何度かしました。料金は和田先生がいつも払ってくれました。



和田師が1971年より毎年開催している「教会音楽全国講習会」があり、開催の会場までオルガンを運ぶ仕事の手伝いをさせてもらったり、前の奥様の車に乗って東京大学教養学部のコラス部に先生の作った楽譜を持って行くお手伝いしたこと等が思い出されます。東京文化会館で「メサイア」だったか合唱の発表があり、合唱の終わった後、本田弘慈師が特別集会のスピーカーでした。和田師から私に本田先生を講師控室から会場の舞台前までご案内するようにとの指示でした。私は子供を連れて行って「おしっこ」と言われ、もたもたしていると時間になり、急いで講師控室へ行くと、本田先生はいなくて、もうすでに舞台上に立てておられたと言うような失敗談もあります。私が千葉に来て、八千代キリスト教会を始めましたが、当教会員・安藤恭子姉のご主人安藤武嗣兄が、「東京クリスチャン・コワイア」の聖歌隊のメンバーでした。その当時の様子を描いたものが、1971年1月号の「聖歌の友」に掲載されています。

讃美歌・聖歌は永遠に歌いつづけられます。「讃美歌」から時代の要請に合わせ、新しく「讃美歌第二編」、「讃美歌21」が編まれ広く用いられています。「聖歌」から、時代の要請に合わせ、新しく「新聖歌」、「教会福音讃美歌」が編まれ広く用いられています。中田羽後師、和田健治師が天に逝っても、地上では聖歌は愛され歌い続けられると思います。教会音楽講習会の企画や聖歌総合版の発刊等が、私たちの団体「連合」の練馬バプテスト教会から創出されたのには、神の不思議な導きを感じます。

お知らせ

10月12日(日)マス小林師(小林正則)(1949~カナダ・アルバータ州在住)が来日、この日に当教会で特別礼拝を行います。午後からは懇談会を予定しております。ご参加下さい。

駐車場の花「松葉ボタン」

(7/20 撮影)
(下橋)



八千代キリスト教会ホームページ」作成のための打ち合わせ

ホームページには、当教会の特色・歴史・行事(日曜礼拝、祈禱会、家庭集会)・アクセス案内・会員の紹介、などが掲載されています。教会員のみならず、初めて見る方達にもわかりやすく、魅力あるものになるよう作成中です。

7月13日(日)三郷バプテスト教会を訪問

初めて三郷教会を訪問しました。大澤博己先生と奥様が出迎えてくださいました。礼拝人数は八千代キリスト教会と同じ位でしたが、先生(ギター演奏)も奥様(ハープ演奏者)も、音楽家でいらっしゃる。私の証し(簡単なメッセージ)を申し上げ、教会員の方と交わりを行うことができました。奥様の太田美保様は、乳がんのステージ4で、3種類の抗がん剤のために筋肉痛、下痢、嘔吐を繰り返されているとのこと。回復のために皆様もお祈り下さい。(小林)



メンバー紹介 「成田のグループ・ホームに引っ越して」

安藤 真大

今年の6月の月上旬に成田に引っ越しをしたのですが、私が感じた成田の印象は優しい人が多い所で、住んでいる周りには何もない所だなあと感じてました。

私が「わおんレジデンス」にいた頃、岸さんという女性の職員がいました。その方が成田の人は優しい方が多いところだと言っていました。その時は聞き流していたのですが、いざ来てみると全体的に人が優しい所だなあと感じます。他の利用者で、精神障害なのか分かりませんが、自分が気に食わないと机をたたいたり、大声を出したりして暴れたり、非常ベルを鳴らしたりして、施設に消防士の人が駆け付けたり職員を困らせます。また、身体障害者の老人の方や、知的障害の声の大きな小母さんみたいな人がいますし、以前の施設より重度の人が多く感じます。

施設の周りは、田んぼの中にボツンとあって何もない所です。こんな辺りな場所に月一度小林先生が、私を訪ねて下されます。この前は、小林先生の知人の岩崎さんが、私の為に訪ねて来てくれました。岩崎さんは、私が少し太ったと言っていました。気を付けなければいけません。太り過ぎたアブシャロムみたいにならないよう、用心しなければと思っています。



教会及び連合のスケジュール(予定)

04月22日(火) 八木明子姉のバプテスマ(洗礼)式
05月15日(木) 龍ヶ崎(野崎宅)家庭集会
05月18日(日) 牧師が「町田金井教会設立25周年礼拝」にお祝に行く
06月01日(日) 横山武師の葬儀、ミルトス52号発行・発送
06月08日(日) ペンテコステ(聖霊降臨日)、運営委員
06月09日(月) 東京地区連合、千葉・茨城ブロック別牧師会
07月13日(日) 三郷バプテスト教会でショートメッセージ
07月14日(月) 10:30東京地区牧師会、19:30東京地区連合委員会
07月17日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
07月20日(日) 聖餐式
08月03日(日) ミルトス54号発行・発送。8月運営委員会
08月31日(日) ミルトス55号発行・発送
09月07日(日) 9月運営委員会
09月28日(日) ミルトス56号発行・発送
10月05日(日) 10月運営委員会
10月12日(日) マス小林師による特別伝道礼拝

祈って下さい

- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈禱課題」が、み心にそって実現しますように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間に停戦合意ができ、イランとの間に戦争にならないように
- 5)三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 6)祈禱会に多くの方々が参加し、祈りがささげられますように
- 7)洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8)成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の健康と衰える体力が回復できるリハビリが見つかりますように

3分間講座 「神と人をつなぐ大天使ガブリエル」

天使とは「神のみ使い」の役割を持った存在です。神と人類の橋渡しを担う神の使者です。天使は有名な絵画に美しい女性的な姿で描かれていても、実は性別はありません。そのうえ当初は翼もなかったのですが、ギリシャ神話の翼を持った勝利の女神ニケや、クビト(裸で子供姿の可憐なキューピッド)と混同、同一視され、次第に天使は羽根を持った姿で表現され出したようです。

天使としては何人もの名が挙げられますが、その中で、武勇に優れたミカエルと共に聖書の中に名が刻まれて、存在感があるのはガブリエルです。老齢の司祭ザカリアに妻のエリザベトが、洗礼者ヨハネを産むこと、さらにヨセフと婚約していた農夫の娘マリアに、神の子イエスを授かったことを告げたことはよく知られており、いくつもの名画にその場面が描かれています。要するにガブリエルは、神の意志や言葉を伝えるパワフルなメッセンジャーとしての役割を果たす天使です。神からのメッセージは、わたくしたちが暮らしの中で迷いを感じたとき、ネガティブな考えを拭き去り、勇気を与えてくれ、人生の変化をうまく乗り越えられるように導いてくれます。また与えられた気持ちは心を浄化し、直感力を働かせますから、創造的な仕事に携わる人にとっては、才能を開花させる点でこの上ないサポーターです。話は飛ぶのですが、有名なジョン・ミルトンの長編叙事詩「失樂園」の中で、禁断の実を食べたアダムとイブがエデンの園を追われたとき、楽園の警備者だったガブリエルはミカエルと共に、失意落胆した二人に未来のビジョンを見せ、神からの温かい励ましを伝えたと書かれています。

天使には9つもの階級があり、ガブリエルとミカエルは、共に下から2番目の低い階級の「大天使」なのですが、それがかえって人間に接する機会を増し、親近感を与える存在となりました。(池田)



ヤン・ファン・エイク 作
1432年「ヘントの祭壇画」
に描かれている「受胎告知」
の大天使ガブリエル

編集後記: 百日咳が子供たちに流行っています。特に新生児が罹ると危険です。小学生が学校で貰って来ての家庭内感染が多いようです。猛暑が続いているので、締め切って冷房を掛けっぱなしにして、部屋の換気が悪く空気が汚れています。飛沫感染の危険が高くなります。時々、窓を大きく開け外の空気を入れ換えて下さい。暑くてもおりに触れ、外に出て下さい。(下橋)